

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 12 月 3 日 (2020.12.3)

【公表番号】特表 2019-535813 (P2019-535813A)

【公表日】令和 1 年 12 月 12 日 (2019.12.12)

【年通号数】公開・登録公報 2019-050

【出願番号】特願 2019-544789 (P2019-544789)

【国際特許分類】

C 07 D 401/06 (2006.01)

A 61 K 31/496 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

A 61 P 17/00 (2006.01)

A 61 P 17/02 (2006.01)

A 61 P 17/04 (2006.01)

A 61 P 17/06 (2006.01)

A 61 P 17/08 (2006.01)

A 61 P 17/10 (2006.01)

【F I】

C 07 D 401/06 C S P

A 61 K 31/496

A 61 P 43/00 1 1 1

A 61 P 17/00

A 61 P 17/02

A 61 P 17/04

A 61 P 17/06

A 61 P 17/08

A 61 P 17/10

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 10 月 22 日 (2020.10.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

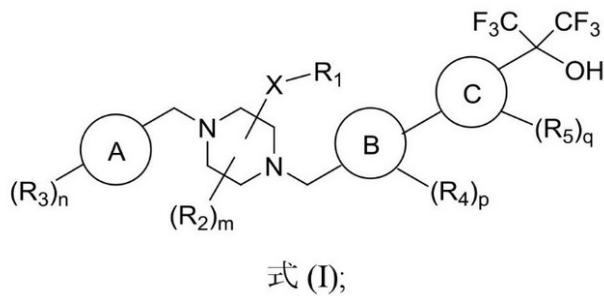
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (I) の構造を有する化合物、或いはその薬学的に許容可能な塩又は溶媒和物であって、

【化 1】



式中：

【化 2】



は、フェニル、或いは 5 員又は 6 員のヘテロアリール環であり；

【化 3】



は、フェニル、或いは 5 員又は 6 員のヘテロアリール環であり；

【化 4】



は、フェニル、或いは 5 員又は 6 員のヘテロアリール環であり；

X は単結合、 $C_1 - C_6$ アルキル、又は $C_1 - C_6$ ヘテロアルキルであり；

R_1 は、 $-C(=O)OR_6$ 又は $-C(=O)N(R_6)_2$ であり；

各 R_2 は独立してハロゲン、 $C_1 - C_6$ アルキル、又は $C_1 - C_6$ アルコキシであり；

各 R_3 、各 R_4 、及び各 R_5 はそれぞれ独立して、ハロゲン、 $C_1 - C_6$ アルキル、 $C_1 - C_6$ ハロアルキル、 $C_1 - C_6$ アルコキシ、 $C_1 - C_6$ ヘテロアルキル、 $-OR_7$ 、 $-N(R_7)_2$ 、 $-CN$ 、 $-C(=O)R_8$ 、 $-C(=O)OR_7$ 、 $-C(=O)N(R_7)_2$ 、 $-NR_7C(=O)R_8$ 、 $-NR_7SO_2R_8$ 、 $-SO_2R_8$ 、又は $-SO_2N(R_7)_2$ であり；

各 R_6 は独立して水素、 $C_1 - C_6$ アルキル、又は $-C_1 - C_6$ アルキル - Y - R_9 であり；

各 Y は独立して、 $-O-$ 、 $-S-$ 、又は $-N(R_{10})-$ であり、

各 R_7 は独立して、水素、 $C_1 - C_6$ アルキル、 $C_1 - C_6$ ハロアルキル、又は $C_1 - C_6$ ヘテロアルキルであり；

各 R_8 は独立して、 $C_1 - C_6$ アルキル又は $C_1 - C_6$ ヘテロアルキルであり；

各 R_9 は独立して水素又は $C_1 - C_6$ アルキルであり；

各 R_{10} は独立して水素又は $C_1 - C_6$ アルキルであり；

m は 0、1、2、3、又は 4 であり；

n は 0、1、2、3、又は 4 であり；

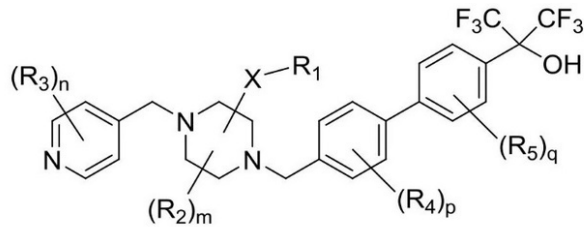
p は 0、1、2、3、又は 4 であり；及び

q は 0、1、2、又は 3 である、化合物。

【請求項 2】

式 (I a) の構造を有する、請求項 1 に記載の化合物：

【化 5】

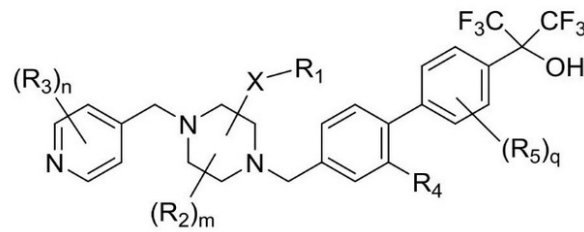


式 (Ia).

【請求項 3】

式 (I b) の構造、或いはその薬学的に許容可能な塩又は溶媒和物を有しており、

【化 6】



式 (Ib);

式中：

X は単結合、 $C_1 - C_6$ アルキル、又は $C_1 - C_6$ ヘテロアルキルであり；

R_1 は、 $-C(=O)OR_6$ 又は $-C(=O)N(R_6)_2$ であり；

各 R_2 は独立してハロゲン、 $C_1 - C_6$ アルキル、又は $C_1 - C_6$ アルコキシであり；

各 R_3 は独立して、ハロゲン、 $C_1 - C_6$ アルキル、 $C_1 - C_6$ ハロアルキル、 $C_1 - C_6$ アルコキシ、 $C_1 - C_6$ ヘテロアルキル、 $-OR_7$ 、 $-N(R_7)_2$ 、 $-CN$ 、 $-C(=O)R_8$ 、 $-C(=O)OR_7$ 、 $-C(=O)N(R_7)_2$ 、 $-NR_7C(=O)R_8$ 、 $-NR_7SO_2R_8$ 、 $-SO_2R_8$ 、又は $-SO_2N(R_7)_2$ であり；

R_4 は水素または $C_1 - C_6$ アルキルであり；

各 R_5 は独立して、ハロゲン、 $C_1 - C_6$ アルキル、 $C_1 - C_6$ ハロアルキル、 $C_1 - C_6$ アルコキシ、 $C_1 - C_6$ ヘテロアルキル、 $-OR_7$ 、 $-N(R_7)_2$ 、 $-CN$ 、 $-C(=O)R_8$ 、 $-C(=O)OR_7$ 、 $-C(=O)N(R_7)_2$ 、 $-NR_7C(=O)R_8$ 、 $-NR_7SO_2R_8$ 、 $-SO_2R_8$ 、又は $-SO_2N(R_7)_2$ であり；

各 R_6 は独立して水素、 $C_1 - C_6$ アルキル、又は $-C_1 - C_6$ アルキル - $Y - R_9$ であり；

各 Y は独立して、 $-O-$ 、 $-S-$ 、又は $-N(R_{10})-$ であり、

各 R_7 は独立して、水素、 $C_1 - C_6$ アルキル、 $C_1 - C_6$ ハロアルキル、又は $C_1 - C_6$ ヘテロアルキルであり；

各 R_8 は独立して、 $C_1 - C_6$ アルキル又は $C_1 - C_6$ ヘテロアルキルであり；

各 R_9 は独立して水素又は $C_1 - C_6$ アルキルであり；

各 R_{10} は独立して水素又は $C_1 - C_6$ アルキルであり；

m は 0、1、2、3、又は 4 であり；

n は 0、1、2、3、又は 4 であり；及び

q は 0、1、2、又は 3 である、請求項 2 に記載の化合物。

【請求項 4】

R_1 は $-C(=O)OR_6$ である、請求項 3 に記載の化合物。

【請求項 5】

R_6 は $C_1 - C_6$ アルキルである、請求項 4 に記載の化合物。

【請求項 6】

R₁ は - C (= O) O C H₃、 - C (= O) O C H₂ C H₃、又は - C (= O) O C H (C H₃)₂ である、請求項 5 に記載の化合物。

【請求項 7】

X は単結合である、請求項 3 乃至 6 の何れか 1 つに記載の化合物。

【請求項 8】

X は C₁ - C₆ アルキルである、請求項 3 乃至 6 の何れか 1 つに記載の化合物。

【請求項 9】

m は 0 であり、 n は 0 であり、 q は 0 である、請求項 3 乃至 8 の何れか 1 つに記載の化合物 0。

【請求項 10】

R₄ は水素である、請求項 3 乃至 9 の何れか 1 つに記載の化合物。

【請求項 11】

R₄ は C₁ - C₆ アルキルである、請求項 3 乃至 9 の何れか 1 つに記載の化合物。

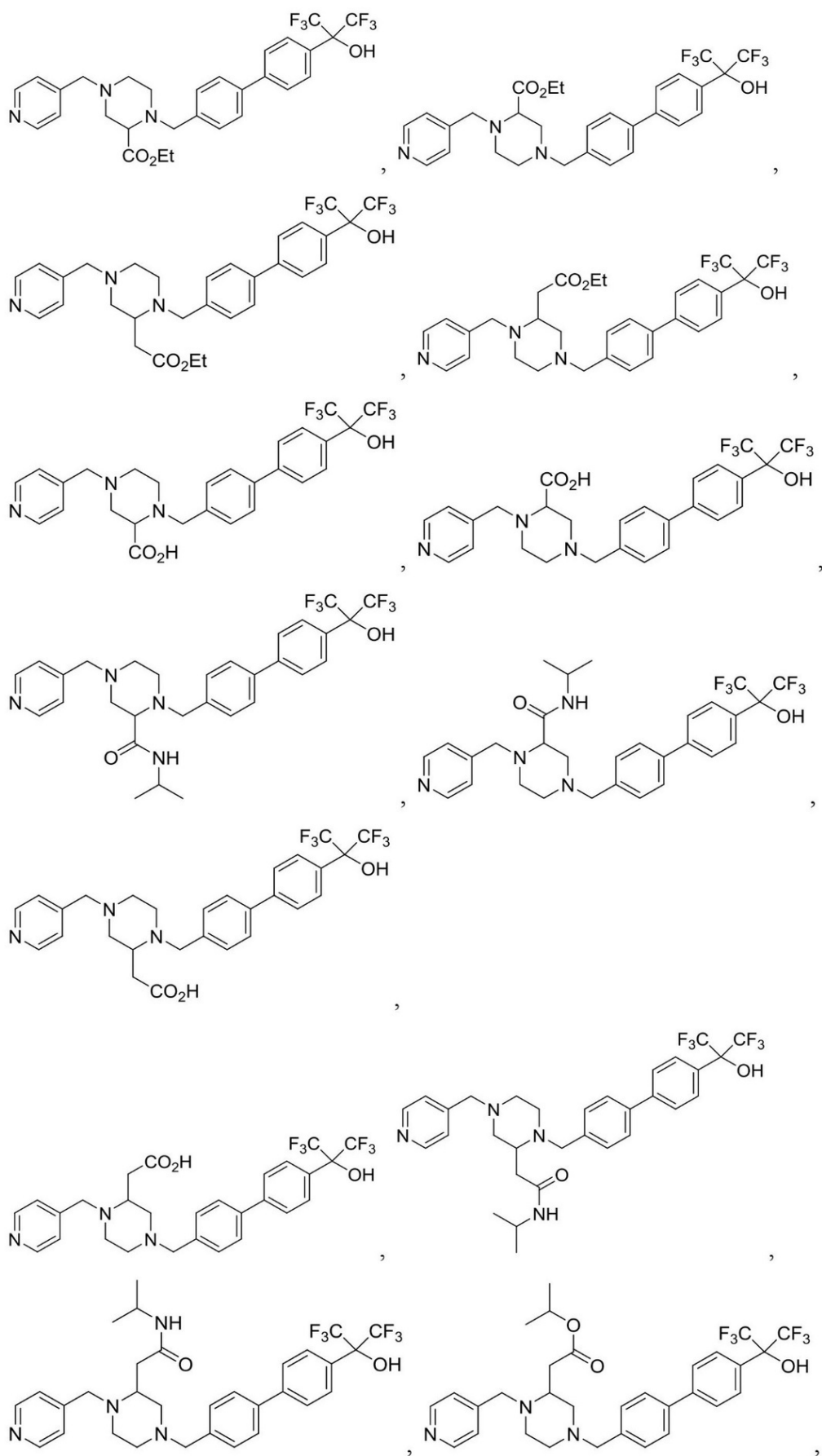
【請求項 12】

R₄ は - C H₃ である、請求項 3 乃至 9 の何れか 1 つに記載の化合物。

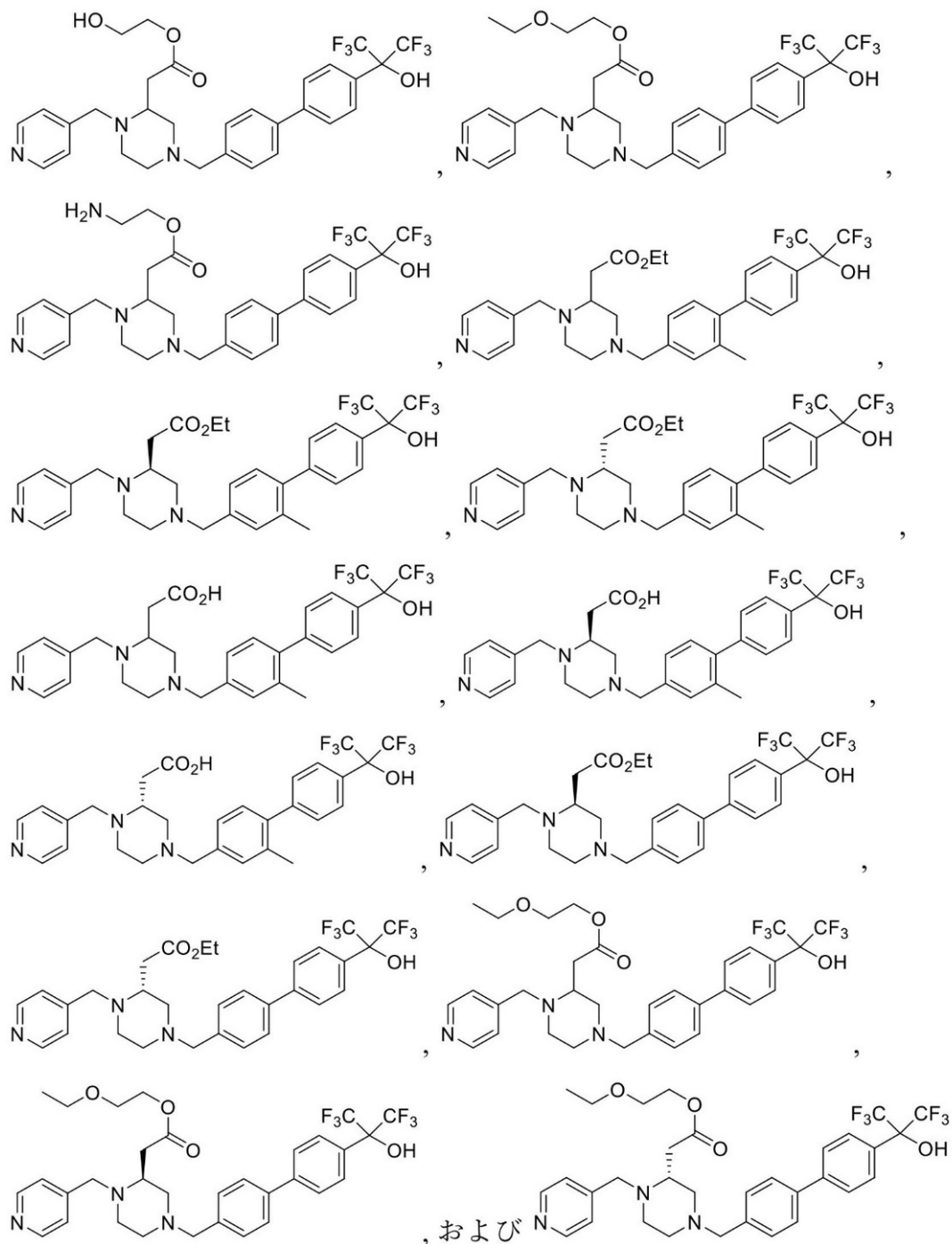
【請求項 13】

以下から選択される、請求項 1 に記載の化合物、或いはその薬学的に許容可能な塩又は溶媒和物：

【化 7 - 1】



【化 7 - 2】



【請求項 1 4】

薬学的に許容可能な希釈剤、賦形剤、又は結合剤、及び、請求項 1 乃至 1 3 の何れか 1 つに記載の化合物或いはその薬学的に許容可能な塩又は溶媒和物を含む、医薬組成物。

【請求項 1 5】

皮膚老化、瘢痕化、乾癬、皮膚炎、湿疹、蕁麻疹、酒さ、熱傷、及びざ瘡から成る群から選択される、皮膚の疾患、障害、又は疾病の処置に使用される、請求項 1 4 に記載の医薬組成物。